



これまでの活動を振り返って



みんなの県主

発行
県の里まちづくり推進協議会
県主地区自治連合協議会
県主公民館
県主地区社会福祉協議会

「好味漬けの材料提供」・
「地元産のサツマイモを
使用した焼酎造り」の二

このように、各部会が中心になつて主体的に事業を展開しています。これらに係る経費は、井原市の「が
んばる地域応援補助金」が
主体で、効率的な予算執行
に心がけています。本年度
も残りわずかですが、各事
業を取りまとめ、来年度事
業を計画していきたいと思
います。これから、地域
の皆さまと共に、住みよい

県の里まちづくり
推進協議会 部会構成

監督 藤井 房郎

県の里まちづくり推進協議会では、ここ県主に広がる美しい田園風景を生かした地域の皆様とともに農業の今後を考えるきっかけづくりになればと考え、昨年度よりかかしコンテストを開催しています。昨年度を上回る68体が集合しました。個人の作品に加え介護施設のお年寄りの方々と一緒に作ったものや東京からの里帰り中におばあちゃんを作ったもの、児童クラブの子どもたちや笠岡、倉敷か



「第2回 かかしコンテスト開催」

県の里まちづくり推進協議会
うつくしい里部会長 蔵本久美

らも応募がありました。テーマ「農業」に合わせて考えさせられるもの、昔を思い出させるもの、ほのぼのと心癒されるものなど、本年度はまた一段とレベルアップを感じました。山陽放送、岡山放送、井原放送で取り上げていただいたおかげで岡山市内、玉島、水島、総社、遠くからは愛媛からも見学に来ていただきました。審査は井原市長さんのをはじめ地域の各種団体の代表32名の皆様にお願いました。昨年同様に「力作ぞろい」で審査に困った」と言う声をいただきました。見学者の方からも審査に参加したいと要望があり、本年度から一般投票もありませんでした。938の投票の中にはさまざまなコメントが添えられていました。「稲とかかしに心がなごみました。来年も必ずきます。」「あつと思つた。亡き母を思い出しました。」



「毎年続けてください。」「地域の人たちに見守られながら、すくすくと育てられている子どもたちが見えます。」なかには「おばあちゃん！長生きしておいしいう明治ごぼうを作ってくださいね、でも重労働なので、お体には十分気をつけてください。」とかかしにねぎらいの言葉をかけていただいたものもありました。入賞作品は10月19日に発表し、26日のかかし祭りで表彰式となりました。このかかしコンテストにたくさんの方々のお力をお借りして無事終了した事を感謝しております。本当にありがとうございました。

かかしまつり開催

ゆいの里部会

岡田佳代

昨年に続き、かかしコンテストの司会進行をさせていただきました。初開催の昨年を上回る出展に「どんな作品があるのかな？」と、何度か会場に足を運び、私自身も結果を心待ちにしていました。今年は昨年から表彰対象を広げ「子どもたちに沢山賞をあげよう」と「かいくん特別賞」が創設されました。その結果、子どもたち



ふるさとのかかし

かかしサミットに参加して

うつくしい里部会 長谷佳子

奥播磨かかしの里で行われた「ふるさとのかかしサミット」に大江まちづくり協議会のメンバーと共に参加しました。

中国四国地方の8地区でかかしによるまちづくりを行なっている地区同士の交流会で、各地区のかかしを見せていただいたり、特産物を求めたり、楽しい一日を過ごすことができました。かかしへの思いや、熱意を共有していく中で、福山市でかかしの写真展を開いておられる方が声を掛けて下さるなど新しい出会いもありました。



に賞が授与されたことは、子どもたちの良い思い出になるとともに「誉めてもらう・認めてもらう」という貴重な体験となったのではないだろうか。

表彰式当日にとっても嬉しそうにしていた子どもたちの表情に元気をもらい、また、後日フェイスブックで「受賞の副賞のお米でパティーをしました！」という書き込みを見ると「来年もできるといいな」と思わずにはられません。私にできるのはわずかな事です、



今後自分ができる事から少しずつでも地域の交流に関わっていきたいと思えます。



11月29日(土) 県主地区社会福祉協議会の理事研修に、17名の理事が参加しました。市社協から紹介をいただいた、島根県松江市の「NPO法人まつえまちづくり塾」を視察しました。今年度は近年になく長距離、遠方の視察となりました。朝7時30分出発し、松江市には10時40分頃到着。早速まちづくり塾の代表、舟木友香様より、活動の内容を説明していただきました。

社協会長 北田雅之

平成26年度理事研修

参加者自らがまちづくりを楽しむながら行うとの理念のもと、現在57名の会員がおられ、NPO法人となつて10年目との事。まちあるき観光プログラムの開発、商店街の活性化計画、出雲そばの紹介冊子の発行等々数多くの活動実績を残しておられる様子をお聞きしました。しかし、理事一同が日頃活動している社会福祉との関連事業があまりなかったのが残念でした。

研修のあと松江市内で昼食をとり、短い時間ではありましたが、水の都松江を散策して帰路につきました。



7/6 三連覇達成！
公民館対抗3世代GG大会



7/5 土曜学習が
始まりました



8/13 県の里納涼盆踊り大会



▲カメラ目線でニコリ笑顔

9/14

平成26年度敬老会



▲巫女舞で長寿祈願



8/2

自治連女性部
井原まんてんも踊りました

県主のわだ い





かかしコンテスト受賞者



- ①最優秀賞…ケアハウスきのこセイモン
- ②優秀賞…佐藤和代さん
- ③優秀賞…蔵本壮平さん
- ④佳作…小田川 荘
- ⑤ // …杉本 愛さん
- ⑥ // …花本正光さん

- ⑦佳 作…西田豊治さん
- ⑧ // …西田和恵さん
- ⑨特別賞…県主小学校
- ⑩ // …いばら子どもサロン

かいくん特別賞 (子どもの部)



あゆみ園



猪原牙映さん



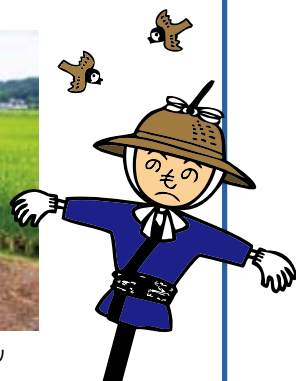
北田純也さん



鼓 紗来さん



渡辺晃成さん



第52回市民体育大会

保体部長 森下和美

去る、10月5日井原市陸上競技場において、第52回井原市民体育祭が行われました。今年は、今にも雨が落ちそうな中での開催となりました。

開会式では、県の里のキャラクター「かい君」を先頭に入場行進をし、会場を大いに盛り上げました。かい君は大人気で、開会式が終わっても、会場にいた子どもたちから握手を求められたり、一緒に写真を撮っていました。

競技になると、選手皆さんは少し緊張した様子でしたが、練習の成果を発揮しようと、一生懸命頑張っていました。

リレーでは、お互いにバトンの受け渡しやスタート要領を確認し、終わってみれば皆さん笑顔で、やり遂げたという達成感に浸っていました。グラウンドゴルフでは、スタートマットとゴールポストの位置が一直

線になるよう、お互いに声を掛け合いながら、和気あいあいと競技を楽しんでいました。玉入れでは、今年から少し軽い玉に変わり、いつもの勝手とは違った中での競技でしたが、それをもろともせず、両手に持てるだけの玉を持ち、要領良く33m上の籠をめがけて一杯投げ続けていました。選手皆さんにとっては、寒く、途中雨が降るといったコンディションの悪い中での競技でしたが、さすが



がしい汗を流されたことと思います。お疲れさまでした。見ている皆さんに、元気を与えて下さいました。最後にになりましたが、選手をはじめサポートして下

鳥羽踊り「こども伝承教室」をやっています!!

鳥羽踊り保存会 会長 藤井 護

日頃から鳥羽踊り保存会の活動にご支援、ご協力を賜わり誠にありがとうございます。

「アー、ヤットサノサノ、ヤットサノサノ」という音頭と太鼓に合わせて踊るのが、鳥羽踊りです。現在、毎月第2・第4土曜日に「こども伝承教室」として踊りの練習をしています。

平成15年度から県主に伝わる「鳥羽踊り」を保存し、後世に伝えることを目的にこの教室を開催し、現在まで12年続いています。県主小学校の児童数が減少する中、2年生から6年生までの15名がとにかく楽しく練習しています。「指導者も楽しく」をモットーに、1人でも多くの子どもに踊

さいました地域の皆さま、早朝より大変お世話になりました。ありがとうございます。これから、地域一丸となって頑張っていきたいと思います。

り伝えるべく、奮闘しています。子どもたちの踊りが上達するのを見るにつけ「やってよかったなあ」と思います。伝承教室を卒業した子どもたちが、将来「鳥羽踊り保存会」に入ってくれることを夢見て、まだまだ頑張ります。よろしく願います。



パート練習の様子

「第39回県主ハウス祭り」に寄せて

県主幼・小PTA会長 三嶋佐織



こども鳥羽踊り伝承教室

県主ハウス祭りは、あいにくの雨の中でしたが、朝からいつもと同じように準備が始まりました。友愛セール、ビンゴゲーム、タイヨーズ、家庭教育学級、児童クラブとPTAの出番が多く、それぞれが自主的に動き祭りを盛り上げました。ビンゴゲームや友愛さんの対応をしました。寒



心肺脳蘇生法の体験

かったため温かいものはよく売れ、途中で買い足したところもあったようです。舞台発表には、「幼稚園児」「鳥羽踊り伝承教室」、「6年生」、又親子で参加してくれた「どっこいしょ」のメンバーと、踊りや劇に大活躍し、自分たちも楽しみながら参加できました。最初はお客さんの数も少なく心配しましたが、少しずつ増え例年並みの盛り上がりでした。前日の準備、当日と文化委員の方をはじめ、関係者の方には、大変お世話になりました。翌日のテントの撤収など色々大変だったと思います。来年は晴れるといいですね。



ぜんざい・シフォンケーキ
雨の中で交流



力作のジオラマ



県産野菜を使った
好味漬の販売



でんちゅうくん来場



友愛セール



力作ぞろいの展示



絵手紙体験

まちづくり推進協議会からのお知らせ

みのりの里部会

地元の一歩創出事業

「焼酎飲んでまちづくり」

みのりの里部会 蔵本哲治

「焼酎飲んでまちづくり」をキャッチフレーズで始まった、県の里まちづくり推進協議会みのりの里部会の6次産業化の二環事業。

6月に鹿児島県志布志市産の「黄金千貫」(白サツマイモ)の苗を購入し、公民館分室西側の畑と蔵本地区の畑に約2000本の苗を植えました。みのりの里部会長を中心に会員皆さんの管理・協力のもと、11月13日から3日間掛けて、鍬や機械を使って芋掘りをしました。



初日は、鍬での芋掘りとなり参加者は、腰に痛みを感じつつも、大きく実ったサツマイモに感動しながら収穫しました。収穫したサツマイモの中には、重さ2キロを超える大物もあり、ビックリ！収穫量も、植え付け時に予想していた1トンを大幅に超える2トン以上となり、皆さんの良さにまたまたびっくりでした。さあ出荷！の前にサツマイモに付いた土を洗い落とす工程が

ありました。2トン以上の量のサツマイモでしたので、洗うのも大変でした。会員さんをはじめ地域の方の協力を得て、2日間掛けて丁寧の手洗いをしました。

11月17日には、新見市哲西町にある酒造メーカー「三光正宗」さんにサツマイモを出荷し、会員8名も同行しました。三光正宗さんに着くやいなや、すぐさま仕込みに入るとの事で、サツマイモを品定めされ、「大変でしたでしょう。いいイモができています。」とお褒めの言葉を頂きました。そして、早速サツマイモは蒸し器の中へ投入され、仕込みが始まりました。

焼酎の完成は、来年の3月頃の予定です。どんな味になるのか、今から楽しみです。お手伝い下さった皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。

焼酎の名前募集

県の里で育てたサツマイモで造った焼酎の名前を募集しています。

※詳しくは公民館まで

ご寄付ありがとうございます

ございました

県主地区社会福祉協議会へ

佐藤 悦子様 (亡夫)

鳥越 弘啓様 (亡父)

北田 和成様 (亡父)

松山 祥文様 (亡父)

北田 吉孝様 (亡父)

馬越 弘二様 (亡父)

門田楽寿会へ

藤井 義孝様 (亡父)

いつもありがとうございます

公民館の掃除

木之子中学校PTA

親子クリーン作戦

広報誌写真協力

戸出 三朗さん

紙面をもってお礼にかえさせていただきます。

お知らせ

1月3日

▽新年互礼会

1月13日

▽とんど集会

3月15日

▽大谷三十三観音めぐり